

受賞者「南太秦自治連合会/京都市右京区役所」

＜地域住民主体のモビリティ・マネジメントの継続的实施によるバスの利便性向上＞

長年の悲願であった市バス路線（70号系統）の開設を契機に、地域住民が主体となって、行政、交通事業者と協働し、市バスなどの公共交通機関の利用促進と利便性向上に向けたMM（モビリティ・マネジメント）の取組を現在に至るまで長期に渡って実践している。取組の積み重ねによって同系統の利用者は年々増加し、運行開始当初の約3倍となり、バス利用者の増加がバスの利便性向上につながり、これが更なる利用者増につながるという好循環を実現している。

1. 京都市右京区南太秦学区での取組の概要

南太秦学区は京都市右京区の南西部に位置し、人口約5,300人、約2,100世帯（平成27年国勢調査結果）の住宅地を中心とした地域です。

学区内には長年の悲願であった市バス路線（70号系統）が平成20年1月に開設されることとなり、これを契機に地域住民（南太秦自治連合会）が主体となって、地域の窓口である右京区役所、交通事業者（京都市交通局）等が連携し、地球環境に優しい市バスなどの公共交通機関の利用促進と利便性向上に向けたMMの取組が平成19年度以来、現在に至るまで長期に渡って実践されています。

■ 市バス70号系統／南太秦学区の位置と運行路線



2. 協働による多彩なMMの取組の実践・継続

平成19年度から現在に至るまで、ワークショップの開催やニュースレターの配布、ポケット時刻表の配布、お試し乗車の実施など、継続して様々な取組を実践されています。

平成27年度には右京区内を越え、隣接する西京区内の学区において利用促進の働きかけを行うなど、より精力的な活動が展開されています。

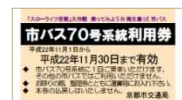
■ MM活動の様子と主な取組



▲和やかな雰囲気でのワークショップ



▲ワークショップでの声を取り入れ、利用者視点で作成したポケットサイズ時刻表



▲お試し乗車のための「市バス70号系統利用券」乗車時の感想や気づきをワークショップで報告

▲ニュースレター「ちいきの足」隣接する西京区内においても配布

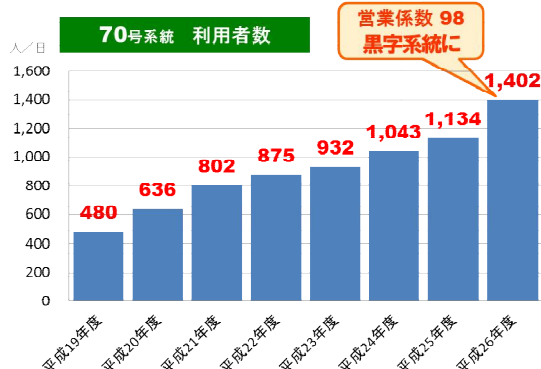
3. 「好循環」の実現

こうした「執念のMM」とも言える、多彩な、そして粘り強い取組の積み重ねによってバス利用者は年々増加し、京都市交通局も平成24年3月、これに即応した増便を実施。また、平成26年4月には、地元企業の協力も得て「バスの駅」が同学区の玄関口である南太秦停留所に設けられ、バス待ち環境も飛躍的に向上しました。



▲ 「バスの駅」 南太秦

バス利用者はその後も着実に増加し、平成26年度にはついに運行開始当初の約3倍となる1,400人／日を超え、営業係数も98と黒字に転換。平成28年3月「新ダイヤ」では、こうした利用者増に応えた更なる増便（日中30分間隔化）が実現しました。バス利用促進の取組が利用者を増やし、利用者の増加がバスの利便性向上につながり、これが更なる利用者増につながるという「好循環」を実現し、優れたMMの実践事例となっています。



南太秦自治連合会
会長 高岡 宏行

南太秦学区は、地域・家庭・学校が日頃から緊密に連携し、学区での体育祭や敬老のつどい、防災訓練の開催に加え、多世代の交流を図るカフェやまち歩きイベント、多岐にわたる講習会・勉強会の開催、高齢者や子どもたちの見守り活動や学区内での助け合い活動、今回表彰していただいた市バス70号系統に係るMMの取組等、様々な事業を積極的に実行され、学区住民の皆様が安心して暮らせる地域づくりを行っています。



右京区役所
区長 西田 哲郎

〒615-8511

京都市右京区太秦下刑部町12

電話 075-861-1101

右京区は、豊かな自然環境、優れた文化的遺産を有する一方で、多くの企業や大学が立地する、多様性のあるまちです。また、これまでに培われてきた地域コミュニティが活発なまちでもあります。こうした地域特性をいかし、①まちの様々な課題の解決を「ひとごと」とせず、区民の皆様が主体の「自分ごと」、「みんなごと」で進める参加と協働によるまちづくり、②行政における組織の垣根を越えたオール右京での取組の推進を基本目標に、「京都創生右京モデル」、「健康長寿のまち」、「安心・安全を実感できるまち」の実現等に重点的に取り組んでいます。